

◎特集1

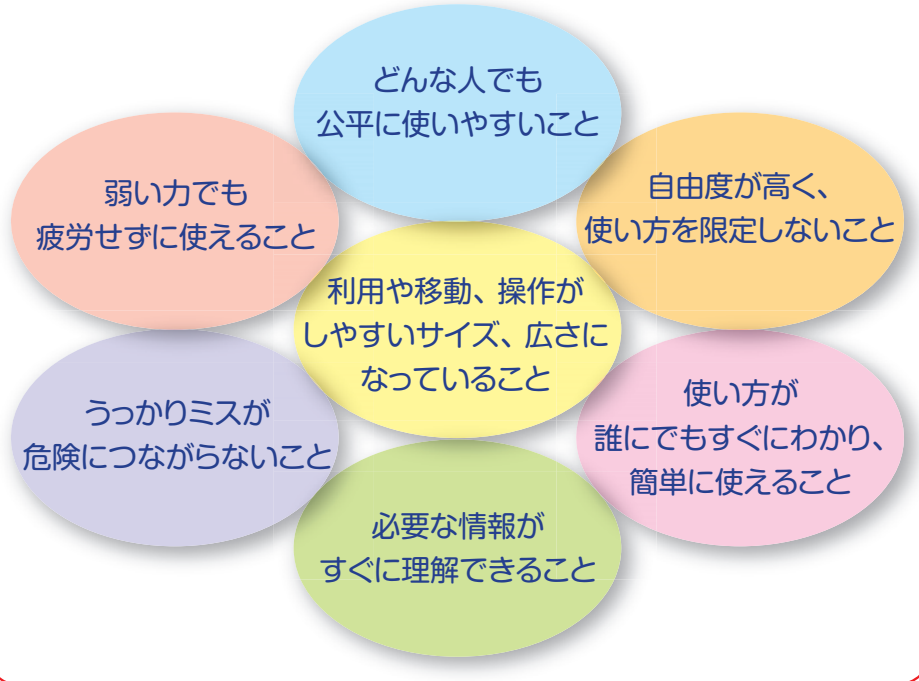
すべての人に、快適とやさしさを。

ヒト、モノ、ココロをつなぐユニバーサルデザイン

人とモノとの接点が、少しずつ変わってきているように思います。スローライフなどの言葉が浸透し、心の豊かさを求めるライフスタイルに社会も変化した始めました。「人が主役」のやさしいくらしを実現する取り組みとして、いま、注目を集めているのがユニバーサルデザインです。

おかやをもっとすてきなまちにするために、まずは、ユニバーサルデザインを知り、意識を共有して、ユニバーサルデザインの心を育て、広めていきたいと思います。

## ユニバーサルデザイン 7原則



「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」ってどう違うの？

「バリアフリー」とは、高齢者や障害のある人の行動を妨げる障壁（バリア）や不便を取り除いていくことです。

「ユニバーサルデザイン」は、ユニバーサル（＝すべてに共通の、普遍的な、一般的な）の言葉が示すとおり「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害の有無、身体能力、人種や国籍などにかかわらず、できるだけ多くの人が快適であるように、バリアのない社会をはじめからつくることです。



障害者にとって、車いすの出し入れ、車の乗り降りはとてもたいへん。車いすマークの駐車スペースがふさがっていたり、隣の車がラインをはみ出していたりすると、本当に困ってしまいます。

空いているから、便利だから、少しの時間だから、と健常者が利用するのはルール違反です。

ユニバーサルデザインの推進、はじめの一步

もし自分が、「目が不自由だったら…」 「車いすに乗っていたら…」 。こんなことを考え、意識しながら、やさしい暮らしを実現してみませんか。

「困っている人がいたら声をかける、手助けをする」「車いすマークのある駐車場の利用ルールを守る」「盲人用点字ブロックの上に自転車や荷物を置かない」など、できることから始めてみましょう。

# いろいろあります！ 身のまわりの ユニバーサルデザイン



### ◆手すり

諏訪湖ハイツ…波形の手すりは手がかけやすく安心感がある



### ◆安全に配慮された自動ドア、エレベータ

駅のエレベータ…たくさん荷物を持っているとき、小さな子どもを連れているとき、ひざや腰が痛いときなども快適に駅が利用できる



### ◆多目的トイレ

フォレストモール岡谷 デリシア内…人工肛門などの人にも配慮し、ゆったりとしたスペースに手すり、幼児用シート、非常用プザーなどを装備。ピクト(絵文字)も大きくて見やすい



### ◆自動販売機

商品の押しボタンを低い位置にも設けてある。コインの投入口にカバーがつき、お金を落としたりする心配がない



### ◆幼児用トイレ

神明保育園…小便器は壁かけ式のため、つま先が便器の下に入り、自然と正しい姿勢に。背筋が伸び、手すりにもつかまりやすい。女児用(大便器)の個室はかわいい動物のキャラクターが子どもにもわかりやすい



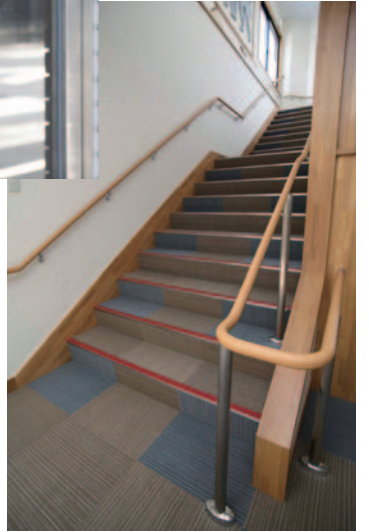
### ◆絵文字

信号機…絵文字サインのはしり。どのくらい待てば青になるかわかる目盛りもついて、イライラを軽減



### ◆地域コミュニティのバリアフリー

花岡区民センター…駐車場から出入口への動線を改修。  
車いすマークの駐車場も新設



### ◆次世代パソコンなど

指先だけで簡単操作が可能なタッチパネルPCや、音声認識ソフトなど、IT機器もユニバーサルデザイン化。軽薄短小なボディ、鮮明で見やすいディスプレイ、大きな文字は、高齢者や障害者にももちろんやさしい



上浜区公民館…入口のガラスには、衝突防止のシール。館内はすべて引き戸。手すりも、全館、トイレにも

ほかに、左手でも使えるハサミ、触ることで識別できるパッケージ（シャンプーのボトルに印をつけ、リンスのボトルと区別できるなど）、開けやすいふた、洗濯物が取り出しやすい斜めドラムの洗濯機など、ユニバーサルデザインは、生活者の支持を受けて進化&深化を続けています。

## ユニバーサルデザインは心のバリアフリーから

最近では、さまざまな施設、製品、建築などにユニバーサルデザインが取り入れられています。しかし、ハードの整備だけでは、ユニバーサルデザインを推進していることにはなりません。

「助かるなあ」「ほっとするなあ」と感じることをかたちにしていくこと、それがユニバーサルデザインです。一人ひとりが、自分らしさを発揮し、違いを認め合いながら、譲り合う気持ちを尊重してくらす社会。ユニバーサルデザインの考え方のもとにあるのは、そうした共助、共生の精神ではないでしょうか。

「お手伝いしましょうか?」ベビーカーを押すお母さんがバスに乗るのを、乗客が手助けする。「手伝ってください!」車いすの人が、自ら周りに声をかける。

言葉は目新しいようでも、ユニバーサルデザインの「精神」は、もともとわたしたちの心のなかに、根づいているものです。考え方の根底にあるのは、人を思いやり助け合う気持ち。ちよつとした気づきがあれば、ユニバーサルデザインが息づくやさしい社会が実現できます。心のバリアを取り除き、お互いの理解を深めて、「ユニバーサルデザインのまちづくり」をみんなできましょう。

問合せ ● 社会福祉課(内線1251)